

2007年7月18日

NHK広報局

吉永小百合さんとともに、 「戦争を語り継ぐ、平和の尊さを伝える」番組を届けます

第二次世界大戦の終結から62年を迎える今年の夏も、NHKでは戦争と平和について考える数多くの番組を放送します。その数は、50を超えます。戦争を経験された方々の高齢化が進んでいる今年は、特に戦争体験を次の世代に伝えてゆくことを主眼にしています。

「戦争と平和」関連番組を紹介するPRスポットやポスターには、女優の吉永小百合さんにご協力いただきました。吉永小百合さんは、テレビドラマ「夢千代日記」で胎内被爆した主人公を演じたのがきっかけで平和活動に取り組み、全国の小中高生たちの前で原爆詩を朗読する活動を20年以上続けてこられました。「次の世代に伝える」という趣旨に賛同いただき、ご協力いただくことになりました。朗読会を続ける吉永さんと子どもたちの物語は、「吉永小百合 言葉で平和を紡ぎたい」（総合テレビ・BS2）で紹介します。子どもたちは、吉永さんの思いを受け継いで仕事を選び、さらに次の世代にその思いを伝えようとしています。



また、若い世代へのPR方法として、「戦争と平和」関連番組を紹介するホームページを開設しました。「NHKスペシャル」、「日本の、これから」などの制作者が自らの言葉で書き込んでいくブログも設け、制作者が身近に感じられるPRを行います。PRスポットでも、ホームページのアドレスを意味する **sengo62** をキャッチフレーズにしています。

この夏に、“戦後”社会のありようを立ち止まって考えるきっかけになればとの期待を込めて番組をお送りします。

ホームページアドレス； www://nhk.or.jp/sengo62

吉永小百合さん出演番組

「吉永小百合 言葉で平和を紡ぎたい～想いを受け継ぐ子どもたち～」

8月 9日(木) GTV 22:00～22:50(50分)

8月15日(水) BS2 21:20～23:00(100分)



20年間続ける原爆詩の朗読

女優・吉永小百合が1986年から始めた「原爆詩の朗読会」は、この20年間で二百数十回に及んだ。吉永がはじめて原爆というテーマに出会ったのは昭和41年の映画「愛と死の記録」のとき。その後、昭和56年から始まったNHKのテレビドラマ「夢千代日記」で胎内被爆した主人公・夢千代を演じたのがきっかけで、平和活動に取り組むようになり、ボランティアで全国の小中高生たちの前で原爆詩を朗読してきた。「ちちをかえせ ははをかえせ」という言葉で始まる峠三吉の「序」、被爆直後の惨状の中での生命の誕生を描いた栗原貞子の「生ましめんかな」など、いずれも吉永自身が有名無名さまざまな詩集から選んだ作品だ。吉永はさらに、朗読を収めたCDを自ら制作したり、5年前には米国の市民団体に招かれシアトル近くの港町ポートタウンゼンドで英語による原爆詩の朗読会を行ったりするなど、活動の幅を広げてきた。

東京オペラシティの朗読会

これまで小さな朗読会を中心に行ってきた吉永だが、今年6月、東京オペラシティで5年ぶりに大規模な朗読会を開いた。今回の朗読会では、これまで読み続けてきた原爆詩はもちろん、沖縄戦をテーマにした戦争童話「ウミガメと少年」(野坂昭如作)の朗読にも挑戦。いわば、吉永小百合の朗読・平和活動の集大成のような会になる。この東京オペラシティでの朗読会の模様を中心に、そこに向けた吉永の準備や、過去の朗読会に参加してさまざまな影響を受けた若者たちの成長の軌跡なども交えながら、「言葉で平和を紡ぎたい」と朗読にかける吉永の姿を描いていく特集番組。

吉永さんの想いを受け継ぐ若者たち

吉永さんが20年にわたって続けてきた朗読は、人々の心にどんな影響をもたらしているのだろうか。番組では、かつて吉永さんを招いて朗読会を開いた学校の子どもたちを追跡取材する。吉永さんの詩を聞いて、人の命を救う仕事につこうと決心した青年。成長して教職につき、吉永さんの想いを引き継いで、新たな平和教育を行おうと模索をつづける女性教師。吉永の原爆詩をもとにした朗読劇を演じたことがきっかけで女優をめざすようになり、今年初めて長崎を訪れて被爆者の体験を聞き取ろうとする高校生。カメラは、「吉永のまいた平和の種」がどのように成長しているのかを記録していく。

また番組では、吉永と沖縄とのかかわりも紹介する。吉永と沖縄との直接の出会いは、昭和37年に出演した「あゝひめゆりの塔」がきっかけだった。原爆詩の朗読で手応えをつかんだ吉永は去年はじめて沖縄に出かけ、野坂昭如の戦争童話「少年とウミガメ」を朗読した。そのときの体験や地元の人々との交流についても取材して紹介する。

朗読会も放送予定

放送予定 8/19(日) BS2 19:30~21:00

「第二楽章 ヒロシマ・ナガサキ・沖縄～平和への願いをこめて～」

出演：吉永小百合、大島ミチル（指揮・ピアノ）、夏川りみ（歌）ほか

<6月24日(日) 東京オペラシティコンサートホールで収録>

あした元気にな～れ！ ～半分のさつまいも～

8月4日（土）教育 前9：30～11：00



長編アニメーション「あした元気にな～れ！～半分のさつまいも～」は、作家・エッセイストとして多方面で活躍する海老名香葉子さんが、自らの少女時代の体験をつづった著書「半分のさつまいも」（くもん出版）を原作として製作された。

物語の主人公は、昭和20年3月10日の東京大空襲で家族6人を失い、戦災孤児となったかよ子。彼女は親戚の家に引き取られ過酷な毎日を送っている。そして肉親のうち唯一生き残ったとされる兄のきさぶろう（きい兄ちゃん）を探し続ける。幼い少女が、終戦直後の貧困と不安の時代にありながらも、明るくたくましく生き抜いていく姿を丁寧に描く。

廃虚と化した東京下町の浅草や上野の闇市、そこで果敢に生きた人々の心からの叫びと熱い思い。それらを織り込みながら、平和と生命の尊さ、人の愛の気高さを改めて感じさせる作品。

総監督には、「P i P i とべないホテル」の中田新一、監督に「ジャングル大帝」「火の鳥」の竹内啓雄、そしてキャラクターデザイン総作画監督に「伝説巨神イデオン」の湖川友謙といった、国内外で活躍する一流スタッフが集っている。

二度と傷ましい戦争がおきないように、永遠の平和を祈るという原作者・海老名香葉子さんの、強い願いが込められた作品を多くの人に届ける。

（声の出演）

語り：吉永小百合

かよ子：上戸 彩

とうちゃん：林家正蔵

ほかに 林家いっ平 など

（主題歌）

「蓮花」 作詞：海老名香葉子／谷村新司

作曲：谷村新司

唄：林明日香



（C）ルートピクチャーズ

平成 19 年 7 月 18 日

「平和アーカイブス」 4 番組 VOD 事業者へ初の無償提供

NHKは平成17年度から関連団体を通じてVOD（ビデオ・オン・デマンド）事業者に対する番組提供を行っていますが、今年の夏は、若い人たちに戦争の悲惨さをより広く知ってもらうため、夏休み期間中、「平和アーカイブス」の4番組を無償で提供し、事業者の協力を得て利用者に無料で視聴していただくことにしました。

NHKが、VOD事業者に無償で番組提供をするのは、今回が初めてです。

提供する番組

「NHK特集 東京大空襲 極秘 爆撃命令書入手」

（1978年3月9日放送）

「NHK特集 そしてトンキーも死んだ 子が父からきくせんそうどう話」

（1982年8月13日放送）

「NHK特集 日米開戦不可ナリ～ストックホルム・小野寺大佐至急電～」

（1985年12月8日放送）

「NHK特集 黒い雨 ～広島・長崎原爆の謎～」

（1986年1月17日放送）

7月18日現在、提供を予定している事業者は、以下の14社です。

株式会社ネオ・インデックス、ビー・ビー・ケーブル株式会社、株式会社ぷららネットワークス、KDDI株式会社、株式会社オン・デマンド・ティービー、エヌティティ・コミュニケーションズ株式会社、TVバンク株式会社、株式会社ケイ・オプティコム、株式会社STNet、株式会社レビックグローバル、NECビッグロブ株式会社、株式会社USEN、ニフティ株式会社、ブリッジ・モーション・トゥモロー株式会社

※ いずれも、利用者は無料でこれらの番組を視聴することができます。

配信開始は7月20日以降、配信終了は8月31日を予定しています。